



Vol.10 令和7年8月発行

生活支援コーディネーター NEWS

◆ 住み慣れた地域 磐田で 自分らしく暮らし続けられることを目指して

【生活支援コーディネーター(SC)とは！】

地域にある資源を活かして、地域の支え合いを推進する役割を担うのがSCです。市民の皆様が住み慣れた地域での「支え合い」「つながり」の活動に出会い、自分らしく暮らし続けられることを目指して支援をします。

SCニュースでは、住み慣れた地域で知恵と力を合わせて活躍されている市民の皆様や、SCの活動を紹介いたします。

(※SCは、市福祉政策課職員と市社協職員が 担っています。)



池田地区

10年後 安心して暮らせる町を目指して！



池田せいかつ応援クラブは平成28年4月1日に発足しました。30分250円で「日常生活上のちょっとした困りごと」をお手伝いしています。草取り、ゴミ出し、買い物代行など「お互いのたすけあいの気持ち」を持ちながら支援をしています。

月1回コーディネーター会議を開き「地域の困りごとや課題」を解決できるよう、細かく話し合っています。コーディネーター会議には市社協のSCも参加し、適宜助言をさせていただております。池田地区では10年後を見据え、安心して暮らせる町を目指しています。

向笠地区

ご近所とのつながりは必要！を再確認

5月9日（木）向笠交流センターにて、福祉懇談会が開催されました。テーマは『地区で行う「見守り」や「つながりづくり」を考える』です。

SCからは、災害ボランティアセンターの立ち上げ経験から、有事に備え日頃からご近所とつながっておくことが大事とのお話をさせていただきました。



出席者からは、「ご近所で声を掛け合う」「隣の自治会とも話をしておく」「助けの必要な方を把握し情報共有したい」等の声が聞かれました。食料・水・簡易トイレ等の準備だけでなく『ご近所とのつながり』も大切にしていただけたらと思います。

西貝地区

祝！20周年 ～お弁当が繋ぐ、地域のきずな～

毎月第3月曜日のお昼は『きずな弁当』。西貝地域づくり協議会福祉部の調理ボランティア、民生委員児童委員、福祉委員による、高齢者世帯へバランスの取れた手作りのお弁当をお届けする取り組みで、見守り活動にも繋がっています。

代々受け継がれているレシピを基に作られる魚や肉、季節の野菜を使った彩り豊かなお弁当を民生委員がお届けしています。『楽しく活動をすることが長続きの秘訣』という代表者の言葉どおり、これからも続けていくことを願っています。



編集／発行

社会福祉法人 磐田市社会福祉協議会

〒438-0077 磐田市国府台57-7

TEL 0538-37-9617

FAX0538-37-4866

磐田市社会福祉協議会
マスコット
キャラクター ふくぴー

